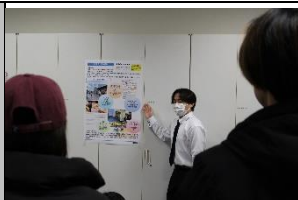


(別紙1)

尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業 教育・研究活動事業実績報告書

教育・研究活動名	子供が主役の地域を創る キッズレボリューション			
申請大学・高校等名	大学及び 高校等名	関西国際大学		
	活動 グループ名	キッズレボリューション	参加学生 等人数	27 人
指導責任者名 及び連絡先	学部・学科等 名称	教育学部教育福祉学科		
	責任者氏名	大平 誠也	連絡先 電話番号	
	E-mail			
協働する市民活動団 体及び代表者名	団体名	NPO 法人 ASK		
	代表者氏名	吉金 潤一郎	連絡先 電話番号	
	E-mail			
教育・研究活動 目標	コロナ禍の影響を受け、「子供の体力・運動能力低下」が問題として取り上げられることが増えている。身体活動そのものを嫌がる子どもたち、テレビやゲームなど視覚、聴覚に偏った活動が増え、ダイナミックに身体を使う活動時間が減少している。また、都市化にともない身体を動かして遊べる場所が減少したこと、少子化が進んで身近で一緒に外遊びできる仲間を見つけるのが難しくなったことも身体活動現象の要因である。教育学部に籍を置く学生達で構成された本団体では、子ども達の体力づくり、運動能力の向上のためにどのようにアプローチすれば、楽しく遊びながら取り組むことができるかを検討し、実践を通して検証している。また、遊びやスポーツで培うことのできるコミュニケーション能力や向上心、あきらめない心など、非認知能力の育成についても実践を通して学んでいる。さらに、今年度は地域イベントを実施している団体と連携し、子ども達が安心して遊べる地域づくりに貢献し、大人も子どもと一緒にスポーツをとおして交流できる健康で明るい街づくりを目指す。			
活動内容及び 実績、評価	(活動内容・実績) 尼崎市小田南生涯学習プラザを中心に地域の子どもたちを対象に行われるイベント運営に積極的に関わった。イベントの中で協働先の NPO 法人 ASK とは連携し、子ども向けのイベントを行った。連携先団体との合同での独自イベントなどの検討を行ったが、スケジュール調整ができず、イベント実施にまでは至らなかった。 しかし、社会教育関連施設でのイベントに積極的に参加することで、地域の子ども会や NPO 法人、高校などと連携・交流し、子ども向けイベントの企画・運営を行うことができた。 以下のイベントに参加し、企画・運営を行った。 7/28 みんなで打ち水(小田南生涯学習プラザ) 7/30 尼崎子ども食堂ネットワーク交流会(小田南生涯学習プラザ) 10/1 尼崎市民まつり(尼崎市立中央中学校体育館) 12/14 保育ボランティア(小田南生涯学習プラザ) 3/9 パラスポーツ ボッチャで遊ぼう(関西国際大学) 3/30 尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業活動報告会(ポスター発表)			





（評価）

報告会の日程が連携団体と合わず、参加いただけなかったが、他の地域の方からは特にボッチャに興味を持っていただいた。年齢を問わず行えるので、子ども向けのイベントや高齢者との交流事業での活用もご紹介することができた。

コロナ禍の影響を受けた在學生が増加したこと、教員を目指す學生が減少したことが影響し、新たに参加するサークル部員の募集に苦労した。多様な方々に助言をいただいたことで新たな展開（少人数実施、他のサークルとの連合、連携）を見出すことができた。

學生が関わった地域、JR 尼崎近辺の地域（振興センターも含む）や学校においては、一定の認知を得ることができた。

學生は社会の影響を受け変化することに加えて、入れ替わるので学習意欲や地域に対する考え方を広め、深めていくことが課題である。

※ 報告書の内容及び掲載写真は、市報、HP等の市の発行する媒体への掲載される場合がありますので、事前に学生等の同意を得た上で、提出をお願いします。